

### パラトライアスロン密着取材

2015年5月16日(土)パラトライアスロンの大会が横浜で開催されました。気候は雨で、海は荒れていました。皆さんはパラトライアスロンって何だろう?と思う方が多いと思います。

トライアスロンの「トライ」はラテン語で「3」を意味し、「アスロン」は「競技」を意味します。

パラトライアスロンとは、体に障害を持つ人たちが競い合う競技で、泳いで(スイム)、自転車(バイク)をこいで、最後は走って(ラン)ゴールする、非常に大変な競技です。

トライアスロンも同じ種目を行います。違いは、パラトライアスロンは障害を持つ人たちが競い合います。パラトライアスロンは選手の障害の程度によって競技結果に及ぼす影響を最小化するために、障害の度合いに応じて類型(カテゴリー)があります。カテゴリーはPT1~PT5まであります。横浜大会のパラトライアスロンは0.75km泳いで、20km自転車をこぎ、5km走ります。

今回はある1人の女性選手取材することになりました。



PT5の部・2位の山田敦子選手(写真右) 【撮影・市川暖乃香】

その方は山田敦子選手。PT5(視覚障害の部)に出られた選手です。視覚障害の人は、目が見えないので、ガイド1名がレース全体を通じて伴走しなければなりません。山田選手に今回のレースについて感想を聞いたところ、「今日は雨が降っていてとても怖かったです。なぜならバイクの時はスピードも速いのでとても滑りやすいからです。でもガイドさんがきちんと安全に頑張ってくれたおかげで、今日の大会は無事に終わりました」と笑顔で語ってくれました。

また、山田選手はランが苦手ですが、苦しく疲れてきたときに、ガイドさんや周りの皆さんの人からの暖かい声援のおかげで頑張ることができて、とてもうれしかったそうです。山田選手はPT5の部で2位になりました。今後も期待したいです。

【市川暖乃香】

### こども記者紹介

市川 暖乃香 (ののか)  
西東京市立けやき小学校  
6年



今回は、レースが終わった直後、お疲れのところ選手の方に取材させて頂き、インタビューの中から皆さんのアドバイスを頂きました。今回もらったアドバイスをヒントに頑張りたいと思います。皆さんが私のこの記事を読んで、トライアスロンやパラトライアスロンのことに興味を持ってもらえたら嬉しいです。本当にありがとうございました。

それは、「根性で頑張る。そして常に攻めないと勝てないと思う。なぜならつらい時に自分に自分を追い込んで、自分を厳しくできるかが勝負だから。自分がつらい時には、他の人も多分つらいと思う。その時に自分に負けたらだめ。」と熱く語ってくれました。そして私は一番大切なことに気付きました。

それはパラトライアスロンも、トライアスロンも楽しくやらないとだめなんだ。もちろん、水泳もバスケもバドミントンもサッカーも全て楽しくやらないと意味がないと思います。【市川暖乃香】



私は今回の横浜大会を通して感じたことは、トライアスロンをやっている人やパラトライアスロンをやっている人はとても笑顔が素敵だと感じました。

また、佐藤選手というPT4(指がない)に出場したパラトライアスロンの選手取材した時のことが強く印象に残っています。

私を感じたこと、印象的だったこと

### こども記者 事業報告

今回、世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会と公益財団法人横浜市体育協会の連携、そして株式会社ニコイメーキングジャパン様のご協賛により、初めての試みとして「こども記者」を実施、小学5・6年生8人が集まりました。

世界のトップアスリートが集う大会で、撮影・選手インタビュー取材を行い、この「こども新聞」を作成。

一眼レフカメラの使い方、実践の中でスポーツ写真の撮り方、取材についてのアドバイスをを行った事前ワークショップ(5月6日)、荒天の中、朝早くからの大会取材(5月16日)と自宅での原稿作成そして新聞づくりの事後ワークショップ(5月24日)。こどもたちにとって、大変ながらも充実したプログラムになりました。

「スポーツには、『する』『観る』『支える』のさまざまな楽しみ方がある」と言われませんが、今回参加したこども記者のみなさんは、「伝える」という新たなスポーツとの関わり方を体験することができました。

大会スタッフやプロのカメラマン、そして上田藍選手にもお声かけいただきなど、特別な経験ができた今回のプログラムでした。

【横浜市体育協会・吉山博之】

2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会  
キッズプロジェクト「こども記者」事業は、  
株式会社ニコイメーキングジャパン様のご協賛により実施されました。

#### 【協賛内容】

- こども記者および保護者・スタッフ1人につき1台のカメラの借用提供
- カメラの使い方説明とスポーツ写真撮影についてのワンポイントアドバイス、全活動日における運営協力

